

都市再生整備計画 事後評価シート  
見附駅周辺地区

平成31年2月

新潟県見附市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	新潟県	市町村名	見附市	地区名	見附駅周辺地区			面積	63					
交付期間	平成25～29年度	事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	1799.8	国費率	0.4							
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名											
	基幹事業		道路事業(市道柳橋44～50号線)、地域生活基盤施設(柳橋緑地・広場)、高質空間形成施設(柳橋無電注化)											
	提案事業		地域創造支援事業(上水道施設整備・ガス施設整備)											
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	当初計画から削除した事業		基幹事業											
			提案事業											
		新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(産業団地調整池・消防水利施設)、高質空間形成施設(照明施設)			下流域の浸水被害を軽減することにより、よりよい住環境を確保し、定住促進を図るため。一般的な道路照明でなく、明るすぎない統一的なデザイン性を持つ照明を設置することにより、特色のある住環境の形成による定住の促進を図るため。		指標2「市民アンケートの満足度」において抽出する項目に「地震及び風水害に対する防災対策」を追加					
			提案事業	まちづくり活動推進事業(情報収集・専門家派遣)			柳橋新規住宅団地を整備する上で必要となるアドバイス等を専門家に求めるため。							
交付期間の変更		当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
		変更												
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	柳橋住宅地内新規着工建築物数	軒	0	H24	10	H30	モニタリング	評価値	8	△	あり なし	特色のある住環境を整備したことにより定住の促進が図られた。	H32.3月末
	指標2	市民アンケートの満足度	%	62.0	H24	63.0	H30			63.6	○	あり なし	各施設の整備により、市民アンケートの満足度を上げることができた。	
	指標3											あり なし		
	指標4											あり なし		
	指標5											あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1													
	その他の数値指標2													
	その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況														
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等						
	モニタリング			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス			柳橋住宅地の整備において、検討会及びワーキンググループを実施し、学識者や市民の意見を反映させた。 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●						
	持続的なまちづくり体制の構築			柳橋住宅地の町内会設立に向け住民と協議した。 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 公園管理について地元町内会で維持管理する必要があるため、協議を続ける必要あり、市は必要に応じて連携しサポートする。						

## 様式2-2 地区の概要

見附駅周辺地区(新潟県見附市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
・緑豊かで住みよい生活空間の整備 ・特色のある住環境の形成による定住の促進	柳橋住宅地内新規着工建築物数	単位：軒 0 H24	10 H30	8 H30
	市民アンケートの満足度	単位：％ 62.0 H24	63.0 H30	63.6 H30
		単位： H	H	H
		単位： H	H	H
		単位： H	H	H



まちの課題の変化	柳橋新規住宅(ウエルネスタウン)を整備したことにより、緑豊かで特色のある住環境が形成され、定住の促進に一定の効果があった。駅前広場については、「利便性の向上」と「賑わいの創出」が課題として残っている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	見附駅周辺地区は立地適正化計画の都市機能誘導区域に設定されており、シンボル性のある拠点地区としての機能が期待されている。コンパクトシティの誘導を図りつつ、まずは駅東口側を対象として再整備を実施する。

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標	●		指標2「市民アンケート満足度」において抽出する項目を「公園や緑地、広場などの整備状況」とする。	抽出する項目に「地震及び風水害に対する防災対策」を追加。	産業団地調整池を整備し、下流域の浸水被害を軽減することにより、よりよい住環境が形成されたかを計測するため。
C. 目標値	●		指標2「市民アンケート満足度」について、従前値58.5%、目標値59.5%に設定。	従前値62.0%、目標値63.0%に変更。	「市民アンケートの満足度」の抽出する項目に「地震及び風水害に対する防災対策」を追加したことにより、満足度の平均値が変化したため。
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道柳橋44～50号線	364.9	道路改良L=1,301m	441.4	道路改良L=1,520m	宅地造成計画の変更による道路延長の増	影響なし	●	
公園									
河川									
下水道	柳橋	325.1	下水道設置 L=1,330m	10.8	実施設計N=1式	工事については、防災安全交付金(下水道)を活用して実施	影響なし	●	
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	柳橋緑地、柳橋広場、産業団地調整池、消防水利施設整備	112.1	緑地、広場整備	776.8	緑地整備A=3,550㎡ 広場整備A=6,438㎡ 調整池改良V=22,000㎡ 防火水槽整備N=2基	災害に強い住環境を確保するため、調整池改良と防火水槽の整備を追加	指標2「市民アンケート満足度」の従前値及び目標値に影響する。市民アンケートの項目に、「地震及び風水害に対する防災対策」があり、目標に関連する項目としてこれを追加し、2項目の平均値により満足度を算定する。	●	
高質空間形成施設	柳橋無電注化、照明施設、見附駅前広場	327.4	無電注化工事、駅前広場植栽	432.6	無電注化工事 L=1,767m 駅前広場植栽N=1式 照明施設N=1式	特色のある住環境の形成による定住の促進を図るためデザイン性のある照明施設を追加	影響なし	●	
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度		目標年度					あり	なし			
指標1	柳橋住宅地内新規着工建築物数	軒	新たに整備した住宅団地で新規着工された建築物の数を計測する。	-	-	0	H24	10	H30	モニタリング			モニタリング		●	
										事後評価	確定見込み ●	8	事後評価	△		
指標2	市民アンケートの満足度	%	平成30年度に市が実施したまちづくり市民アンケートで目標に関連する2項目の「満足」「やや満足」と回答した割合の平均値。目標に関連する項目は「公園や緑地、広場などの整備状況」及び「地震及び風水害に対する防災対策」とする。	-	-	62.0	H24	63.0	H30	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 ●	63.6(H28集計値)	事後評価	○		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	△: 特色のある住宅団地の整備により、新規着工数は順調に伸びていたが、目標値には届かなかった。しかし、住宅用地は14区画売れているため、1年以内に目標の達成が見込まれる。	
指標2	○: 特色のある住環境の整備や、浸水対策事業を行ったことで、目標に関連する2項目の満足度の上昇につながった。	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
				基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3							モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
柳橋住宅団地検討会、ワーキンググループ	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】計5回 【実施時期】平成25年4月～10月 【実施結果】柳橋住宅地の整備において、検討会及びワーキンググループを実施し、学識者や市民の意見を反映させた。	
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
柳橋住宅団地の町内会設立に向けた協議	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	● 町内会を設立するにあたり、住民と設立準備会を実施する。	美里町町内会: 美里町住民(柳橋住宅団地)の町内会・自治会	公園管理について地元町内会で維持管理する必要があるため、協議を続ける必要あり、市は必要に応じて連携しサポートする。
	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価検討委員会	市役所関係各課課長補佐級職員(企画調整課、建設課)	平成31年1月23日	建設課都市計画係(交付金主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2						
指標名		柳橋住宅地内新規着工建築物数	市民アンケートの満足度						
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路(市道柳橋44~50号線)	○	・特色のある住環境を整備したことにより定住の促進が図られた。	-	緑地、広場、産業団地調整池の整備により、関連するアンケート項目(「公園や緑地、広場などの整備状況」「地震及び風水害に対する防災対策」)の満足度が上がった。				
	地域生活基盤施設(緑地、広場、産業団地調整池、消防水利)	◎		◎					
	高質空間形成施設(無電柱化、照明施設)	◎		○					
提案事業	地域創造支援事業(上水道施設、ガス施設)	○		-					
関連事業	下水道	○		○					

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	実際に住んでいる市民の声を聞き、特色のある住環境を市内外にPRし定住の促進を図る。	整備した施設の維持管理を着実にを行い整備効果を持続的に発揮することで、市民の満足度の維持を図る。		
-------	-------------------------------------------	--------------------------------------------------	--	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価検討委員会	市役所関係各課課長補佐級職員(企画調整課、建設課)	平成31年1月23日	建設課都市計画係(交付金主管課)

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
特色のある魅力的な住環境 の整備	柳橋住宅団地(ウエルネスタウン)を整備したことにより、定住の促進に一定の効果があった。	見附駅前の「利便性を向上」と「賑わいの創出」が課題である。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	柳橋住宅団地(ウエルネスタウン)や見附市の魅力を伝える	柳橋住宅団地(ウエルネスタウン)や見附市の魅力を市内外へ情報発信し、定住の促進を図る。	見附市の魅力を市内外へ伝えるための効果的な情報発信

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	見附駅前の利便性の向上と賑わいの創出	交通結節点であり市内外の人々の交流拠点でもある見附駅前の利便性を向上させるとともに、賑わいの創出を図ることが必要	見附駅前の再整備事業

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

● 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
● 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
● 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
● 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
● 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度						予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	柳橋住宅地内新規着工建築物数	軒	0	H24	10	H30	確定 ●	8	○	あり ●	H32.3月末	柳橋住宅団地で新規着工された建築物の数を計測する。		
						見込み			なし					
指標2	市民アンケートの満足度	%	62.0	H24	63.0	H30	確定 ●	63.6	○	あり				
				H		H	見込み			なし				
指標3				H		H	確定			あり				
				H		H	見込み			なし				
指標4				H		H	確定			あり				
				H		H	見込み			なし				
指標5				H		H	確定			あり				
				H		H	見込み			なし				
その他の数値指標1				H			確定							
				H			見込み							
その他の数値指標2				H			確定							
				H			見込み							
その他の数値指標3				H			確定							
				H			見込み							



### 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		目標の達成状況を評価するのにふさわしい指標の設定方法を検討する。
	うまくいかなかった点	新規住宅地内に新たに着工された建築物の数を指標としていたが、目標の10件に届かなかった。 新規住宅地内の住宅地は14区画売れており、定住に向けて取得されていることから、住宅地の取得数を加味できる評価方法を採用する必要があった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

### 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

当該地区の次期計画として、第2期見附駅周辺地区都市再生整備計画の策定を予定している。

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページに掲載	H31.2.1～H31.2.14	H31.2.1～H31.2.14	メール、窓口備え付け の用紙	建設課都市計画係
広報掲載・回覧・個別配布	市広報にホームページで原案 を公表している旨を掲載	H31.2.1発行 広報2月号	H31.2.1～H31.2.14		
説明会・ワークショップ					
その他	窓口にて原案を縦覧	H31.2.1～H31.2.14	H31.2.1～H31.2.14		

住民の意見	意見なし。				
-------	-------	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	渡邊誠介 長岡造形大学 建築・環境デザイン学科教授	平成31年2月14日	建設課都市計画係(交付金主管課)	都市再生整備計画評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	健康サポートクラブ代表 花とみどりクラブ代表 見附市公式FACEBOOKリポーター				

審議事項※1	委員会の意見	
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書に従って、事後評価が適切に実施されたことが確認された。
	成果の評価	意見なし。
	実施過程の評価	意見なし。
	効果発現要因の整理	意見なし。
	事後評価原案の公表の妥当性	事後評価評価原案の公表が適切に実施されたことが確認された。
	その他	特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	意見なし。
	フォローアップ	意見なし。
	その他	特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。